

つながろう

新産会



新世代産業研究会 / 発行
発行責任者 浅野 慎之
編集責任者 岡本 悦生
令和5年1月10日 発行

<https://www.shinsankai.gr.jp/>



新年明けましておめでとうございます。

皆様健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、まさに「激動の1年」でした。
ロシアのウクライナ侵攻、中国の厳しいゼロコロナ政策などにより、
世界中が激しいインフレに見舞われました。
世界中で物価が上がったことを受けて、アメリカをはじめ多くの国で
金融引き締め政策が実施され、わが国では急速に円安が進み、一時
は32年ぶりとなる1ドル=150円台をつけました。
一方、withコロナの行動様式が浸透し、全国各地で人出が増え、
観光地も賑わいを取り戻しつつあるように、
経済は少しずつ正常化に向かっていると感じられます。

2023年の干支、癸卯（みずのと・う）は、これまでの努力が花開き、
実り始めることを表していると言われています。また、株式相場には
卯は跳ねるといふ格言があり、縁起がいい年と知られています。
わが国の経済が飛躍を実現する年となることを願っております。

さて新産会の事業については、2月、3月、8月、9月の事業がコロナの
感染拡大により実施を見合わせる事となりましたが、その他の事業
は予定通り開催でき、多くの会員の皆様にご参加いただき、
誠にありがとうございました。

また各事業開催にあたり、担当理事の方をはじめ、
多くの方に多大なるご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
今年も多くの会員の皆様にご参加頂けるよう、
各種事業を企画し、会員の皆様同士が繋がれる新産会に
していきたいと思っておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、
会員企業様の益々のご盛業と、皆様のご多幸をお祈り申し上げ、
年頭の挨拶とさせていただきます。

新世代産業研究会
会長 浅野 慎之



忘年会開催報告

12月6日(火)新産会の令和4年度忘年会が開催されました。会員20名浅野会長のゲスト1名、21期原さんのゲスト1名、25期山田さんにも旧会員の内村さんをお誘いいただき、総勢23名での開催でした。



21期の田村さんから乾杯挨拶から始まり、かっぱ園菜館特製コースを堪能しました。ゲストの皆さんにもご挨拶いただき、浅野会長のゲストの高木さんからは入会宣言が飛び出し、新たな仲間の参加に会場也大いに盛り上がりました。



最後は江崎前会長に締めめの挨拶を賜り、盛会で幕を閉じました。

当日は19期福井さんのお誕生日ということで、2次会会場にて皆で祝い、新産会の結束の強さを感じる1日でした。

ご参加皆様ありがとうございました。

紙面をもって御礼申し上げます。

2023年も素晴らしい1年になりますように。

39期 大谷 裕

..... 事務局からのお願い

次期会長候補者の選出について

令和5年度の会長候補者を選出する時期になりました。

立候補される方は1月31日(火)までに下記あてに提出を済ませてください。

2月14日(火)開催の理事会にて立候補者を決定し、総会に諮ることとします。

会員名簿の作成について

令和5年度版会員名簿の作成準備を進めています。

現行名簿(令和4年度版)から変更のあった方、

また追加表記のある方は **1月31日(火)まで** にFAXまたはメールでご連絡ください。

指定期日までにご連絡のなかった方につきましては「変更なし」として取り扱わせていただきます。

【連絡先】

株式会社NCネットワーク名古屋 大谷 宛

FAX : 052 - 253 - 5796

Mail: y-ootani@nc-net.or.jp

新春を迎えて

2023年 年頭所感

あけましておめでとうございます。
新たな年が、県民の皆様にとりまして
素晴らしい1年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

昨年は、愛知県が誕生してから150周年の節目を迎え、愛知のこれまでの歩みを振り返り、県民の皆様とともに郷土への愛着や誇りを持って未来に踏み出すことができました。



愛知県知事 大村秀章

そうした中で、日本が世界に誇るオリジナルコンテンツ、スタジオジブリの作品群を凝縮した「ジブリパーク」が開園を迎えるという記念すべき年となりました。

さらに、国際芸術祭「あいち2022」や世界ラリー選手権などのビッグイベントを成功裏に終えるとともに、世界最高クラスのアリーナ「愛知国際アリーナ」、国内最大のスタートアップ支援拠点「STATION Ai」の工事に着手するなど、これまでに積み上げてきた愛知の力を礎に、更なる飛躍に繋がるビッグプロジェクトを着実に前進させ、愛知が「躍進」する1年となりました。

世界は、グローバル化やデジタル化の加速度的な進展、カーボンニュートラルを目指す潮流などにより、大きく変化をしています。愛知県がこれからも、日本の成長エンジンとして、日本の活力を生み出していくためには、こうした時代の波を乗り越え、イノベーション創出に向け挑戦していかなければなりません。

今年も、海外の有カスタートアップ支援機関等との連携強化を図りながら、愛知の強みである分厚い集積を誇るモノづくり産業と融合した愛知独自のスタートアップ・エコシステムの形成を促進し、愛知発のイノベーションを次々と生み出す「国際イノベーション都市」を目指してまいります。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止と社会経済活動の両立を図りながら、社会インフラ整備、農林水産業の振興、教育・人づくり、女性の活躍、医療・福祉、環境、雇用、多文化共生、防災・交通安全、東三河地域の振興など、県民の皆様の生活と社会福祉の向上に力を注いでまいります。

来年度、ジブリパークでは、「もののけの里」と「魔女の谷」の2エリアが開園します。この第2期オープンに向け、万全の準備を進め、「ジブリパークのある愛知」の魅力を国内外に向けて発信してまいります。

引き続き、「日本一元気な愛知」「すべての人が輝く愛知」「日本一住みやすい愛知」の実現を目指し、県民の皆様、笑顔で元気にお過ごしいただけるよう全力で取り組んでまいりますので、一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

2023年元旦